

7月のオープンに向け、耐震補強や改修工事が進められている「秋山孝ポスター美術館 長岡」＝長岡市宮内2

長岡出身 グラフィックデザイナー 秋山さん

市民らが支援 故郷に美術館



大正時代の銀行利用

7月開館へ改修費募る

長岡市出身のグラフィックデザイナーで多摩美術大学教授の秋山孝さん(55)のポスターを集めた美術館が七月十日に同市宮内二にオープンする。大正時代に建てられた元銀行支店を利用。改修費を工面しようと市民有志が支援組織をつくり、参加者や寄付を募っている。

秋山さんは自然保護、孝ポスター美術館、長岡「一九二五(大正十四)年建築の歴史ある建物を残したい地元有志、国際展で度々入賞、世界的に高く評価されている。昨年はトキ放鳥の記念ポスターも手掛けた。

清太郎さん(55)は「いず、営する予定。長岡からはNPO法人化して運、美を発信したい」と意

開館するのは「秋山

建物のはかつての北越銀行宮内支店。移転後、七〇年から商店の倉庫として使われてきた。しゃれた内外装を復元し展示室とする。

建物は長岡空襲や二〇〇四年の中越地震のつめ跡が残り、歴史を伝える。学生や子どもとの交流拠点にもする計画だ。

建物は秋山さんが買い取ったが、耐震補強や内外装工事に三千万円以上必要。県と市が歴史的価値を認め約二千万円を補助するが、残りの費用や運営費を捻出するため、有志が三月末に「サポーターズ倶楽部」を発足させた。

同倶楽部会長の高田

気込む。秋山さんは「元の皆さまの多大な協力で実現した。まちの発展に寄与したい」としている。

倶楽部の年会費は一般一千元、サポート会員は一万円から。問い合わせは、同倶楽部事務局(高田建築事務所内)、02558(36)1230。